

YAMAHA **MARINE NEWS**

すべてのヤマハマリン販売店様のための情報誌 ● ヤマハマリンニュース No.128

1999
11/12



YAMAHA NOW 新たなコンセプト、最新技術で魅了する
2000年ニューモデル鮮烈デビュー

特集

2000年マリン商戦スタート
お客様一人一人が求める最上の価値の提供を目指して

連載 ● 他業界に成功の秘訣を探る

外食産業で躍進する「ワタミフードサービス」

2000年に向けたマリンビジネスがスタート!

新たなコンセプト、最新技術で魅了する 2000年ニューモデル

鮮烈デビュー



高い居住性と操船しやすい フライブリッジが魅力 CR-28FB

大人6人がくつろげるクラス最大の居住スペース。オーバーナイトにも最適なゆとりの居住空間を確保しています。フィッシング、クルージング、パーティーにと豊富なプレイメニューに応えるニューモデルです。価格設定もセールスポイントです。

- ハイチャインV型船型を採用し、凌波性と走行性能を向上させ、さらに静止安定性を確保しています。
- 反転するプロペラがトルクを打ち消すTRPを採用したことで、無駄の少ない走行性と高い操船性を実現。また振動・騒音の少ない快適な走行感が得られます。
- フライブリッジは大人3人が余裕を持って座れるレイアウト。エンクロージャーを工場オプションとして設定しています。
- チーク材を多用したメインサロンはクラス最大の広さ。大人6名がゆったりと団らんで、4名分の宿泊バースを確保しています。

〈主要諸元〉 ●全長:8.43m(9.22m) ●全幅:2.97m ●全深さ:1.62m
●総トン数:5トン未満 ●搭載エンジン:ヤマハSX420KSH ●最大搭載馬力:176.5kw(240ps)
●燃料タンク容量:300リットル ●清水タンク容量:75リットル ●定員:12名
●航行区域:限定沿海 ※()内はパウローラー、トランサムステップを含む長さ

マニアを唸らせる走行性能と機能性 UF-26S/D

新設計のハルとキールの採用で優れた走行性能と風流れ抑止、抜群の横安定性を両立。余裕の釣りスペースと居住性、収納力など、ボートと釣りを知り尽くしたベテランの要求にハイレベルで応える本格派フィッシングボートです。

- 新設計のハルはUFシリーズとしては初めてのV型二層船型。優れた耐候性、凌波性を発揮し、さらにコーススタビライズドキールの採用により抜群の風流れ抑止効果を生み出します。
- アフトデッキの広さはクラス最大。釣りやすく安全性にも寄与しています。両サイドには2.3mの長尺物の収納が可能な物入れを設定。オプションでキャビン後部にアフトステーションを設定するなど、ベテランのボートアングラーのニーズにとことん応えています。
- 個室トイレルーム、大人が横になれるバースを備えたキャビンは居住性も抜群です。



〈主要諸元〉 ●全長:8.48m(バウスプリット含む) ●全幅:2.70m ●全深さ:1.38m
●総トン数:5トン未満 ●搭載エンジン:ヤマハSX370KS、AD31P
●最大搭載馬力:121.4kw(165ps)、110.3kw(150ps)
●燃料タンク容量:200リットル ●定員:10名 ●航行区域:限定沿海

外観デザインの一新と機能性の向上を図った レジャー和船の人気モデル FishingMate 21

波さばきに優れ、ソフトな乗り心地を実現する船型を採用。また長尺物も収納できるセンターロッカーをはじめ収納力を大幅アップ。外観デザインの一新と共に、釣りやすさと走りがますます充実したフィッシングボート。2機種の船外機バリエーションとノンパッケージの設定を用意し、選択肢を広げました。

- 美しいシアーラインと新しいグラフィックが洗練されたイメージを演出。走行面においても優れた性能を発揮する船体を採用しています。
- センターコンソールの前部に座席兼用のセンターロッカーを新設。1.5mまでの長尺物の収容を可能にしています。60馬力、40馬力の船外機の他、ノンパッケージ(艇単体)も設定し、ニーズに合わせたエンジン設定を可能にしました。
- 後機装を考慮したシンプルな船体構造を採用し、ニーズに合わせた様々な機装に対応します。



〈主要諸元〉●全長:6.50m ●全幅:2.00m ●全深さ:0.90m ●総トン数:5トン未満
●搭載エンジン:ヤマハ船外機60FET、40XWT(ノンパッケージも設定)
●最大搭載馬力:44.1kw(60ps)、29.4kw(40ps)
●燃料タンク容量:24リットル携行缶×2 ●定員:6名 ●航行区域:限定沿海



ハイパワー船外機への対応で走行性能を充実 行動エリアもワイドに Tackle-250/B

150馬力のハイパワー船外機に対応させたことでスピード性能を向上、行動エリアをさらに広げた25フィートの人気フィッシングボート。ブリッジのデザインも一新、装備も充実させての登場です。

〈主要諸元〉●全長:8.19m(バウスプリットを含む) ●全幅:2.61m ●全深さ:1.18m
●総トン数:5トン未満 ●搭載エンジン:ヤマハ船外機150JETOX
●最大搭載馬力:176.5kw(150ps) ●燃料タンク容量:160リットル ●定員:12名
●航行区域:限定沿海

搭載エンジンと装備の充実で一段とパワーアップ UF-28S/D

収納式リーニングシートやユーティリティ・テーブルなどを標準装備。さらに個室トイレルームを配置するなどキャビン内の居住性が一段と高まっています。ハイパワーのディーゼル・スタンドライブを搭載し、機動力もアップしています。

〈主要諸元〉●全長:9.27m(バウスプリットを含む) ●全幅:2.70m ●全深さ:1.31m
●総トン数:5トン未満 ●搭載エンジン:ヤマハSX420KS2
●最大搭載馬力:157kw(214ps) ●燃料タンク容量:250リットル ●定員:10名
●航行区域:限定沿海



4ストローク並の低燃費、クリーン排気を実現した2ストローク船外機 Z200N

高圧筒内直噴システムを採用することで燃焼効率を高め、驚異的な低燃費とクリーン排気、低騒音を実現した「HPDI」。EPA(米国環境保護庁)の2006年規制値に対してHC+NOxは30%下回り、燃費に関しては従来の2ストロークを30%上回っています。その独自のシステム「HPDI」を搭載した2ストローク200馬力船外機を「Z200N」として発売しました。また同時に人気のCR-27SEDANO/B、FC-26O/Bの2モデルにおいて「Z200N」搭載バリエーションを追加しています。

〈主要諸元〉●エンジン形式:2ストローク76°V6 ●排気量:2596cm³
●ボア×ストローク:90×68mm ●プロペラ軸出力:147.1kw(200ps)/5000rpm
●燃料供給方式:HPDI(高圧直噴システム) ●潤滑方式:オイルインジェクション
●始動方式:プライムスタート ●エンジンランサム高さ:643mm
●乾燥重量:220kg

〈Z200N〉搭載モデル



21世紀のマリンビジネスに向けて 2000年マリン商戦スタート お客様一人一人が求める 最上の価値の提供を目指して



商品のインフォメーションを行う、
これまでとは違う演出に各販売店
様も有意義な時間を過ごされて
いたようである。
さて今回の特集では販売店様
が感じ取ったニューモデルの印象を
同うと共に、プレス発表で行われ
た試乗会で、ボート専門誌の記者
にニューモデルのインプレッション
を語っていただいた。

「グッドコミュニケーションから
グッドパートナーへ」をテーマに行
われた今年のビジネスフォーラム
では、例年通りのマリン市場の概
況、各カテゴリー別のヤマハ
製品のシェア等の紹介も行
われ、参加販売店様の真摯
かつ真剣な眼差しで臨む姿
が数多く見受けられた。ま
た、今回は営業の他、商品
企画や海洋普及といった各
セクションが直接ブースを
設け、事業展開の説明や新

9月17、18日の両日、静岡県浜
松市に於いて2000年に向け
たビジネスフォーラム、及び20
00年モデルとなるニューモデルの
試乗会が行われた。
「グッドコミュニケーションから
グッドパートナーへ」をテーマに行
われた今年のビジネスフォーラム
では、例年通りのマリン市場の概
況、各カテゴリー別のヤマハ
製品のシェア等の紹介も行
われ、参加販売店様の真摯
かつ真剣な眼差しで臨む姿
が数多く見受けられた。ま
た、今回は営業の他、商品
企画や海洋普及といった各
セクションが直接ブースを
設け、事業展開の説明や新

2000年を彩る ヤマハボートラインナップ 販売店様が語る ニューモデルへの期待

スタイリングのいいCR-28FB 価格的にも魅力です

個 人的に新しい船に興味があるんですよ。CR-28はいいですね。サイズ的にも、ほどほどの金額というところも、実際に乗ってみて、スピード感は充分です。加速した時や、巡航速度の時もスムーズですし、騒音も気になりません。スタイリングだってカッコイイですよ。ウチのショップで人気があるのは、低速安定性がいいタックル25などです。そういったところでは26フィートクラスが中心となっているニューモデルは心強いですね。一隻一隻がしっかり作り込まれている分、ユーザーにとっては選択肢が増えますからね。



〈マリンショップ徳永〉徳永和彦さん(左)
佐賀県伊万里市

ユーザー本位で開発されたことを実感 UF-26の乗り心地は絶品です

ウ チはMJ、EXCITER、それにSRVが多く出るけれど、近場での釣りなんかにはフィッシングメイト21を奨めてみたいですね。最近若い人だけでなく、定年を迎えて購入しようとする人も少なくないですから。フィッシングメイト21だったら、そういう初めて購入する人たちにも扱いやすいから、違和感無く、ちよūdいはずだと思えます。ベテランの底釣り派にはUF-26を奨めたい。新しいハル、あれはいいね。実際に乗ったら確かに安定感がありました。あとキャビンのスライドドアをはじめとして使い勝手がすごく良くなっている。ユーザー本位で開発されたことが実感できるポイントだね。

〈オオウチマリン〉大内博史さん
兵庫県高砂市



代替艇の目玉はUF-26とUF-28 新規にはFISHING MATE-21が絶対お勧め

ほ とんどが釣りのお客様で、漁船ベースを好まれる方とプレジャーさんが半々くらいなのですが、私としてはこのUF-28を代替艇として奨めていきたいですね。キャビンも大きすぎず小さすぎず、個室のトイレルームも設けてありますし、デッキもウオークアラウンドタイプですから底釣りの多いウチのショップではベストマッチのポイントです。大きさは23から25フィートのタックル系のユーザーが多いので、ニューモデルのUF-26やUF-28を代替艇に、新規ではエンジンバリエーションが豊富になったフィッシングメイト21にも力を入れていきたいですね。



〈オキミツ商事〉新本淳さん
沖縄県那覇市

ビジネスフォーラムの2日目に行われたヤマハマリーナ浜名湖でのニューモデル試乗会。試乗艇にはスタイリッシュなスポーツクルーザーCR-28FBをはじめ、新型Vハル船型を採用したUF-26S/Dなど来期の主力商品となるニューモデルが、また船外機ではZ200やF40Bを始め、11月に発売予定の4ストロークF115を搭載したタックル-23等も用意された。例年の恒例となった会場で、試乗後に販売店様のニューモデルに対する熱い期待とその評価をお聞きした。



21世紀のマリンビジネスに向けて 2000年マリン商戦スタート

マルチパーパスとはCR-28FBのための言葉 欲張り指向のオーナーの期待に応えるボート

C R-28FBの魅力はなんといっても多目的なマリンプレイが可能なおボートだということ。なによりも走り、内装の使い勝手が十分に検討されていて、より実用性の高いボートに仕上がっています。フライブリッジの居住性やライトローリングも可能なアフトデッキのスペース。レイアウトが変えられるラウンジシートなど、こちらからあえてセールスポイントを強調しなくてもお客様自身、ボートに乗られている方だつたら納得できるモデルだと思えます。コストパフォーマンス的にもお客様にとって受け入れ易いモデルだと思えます。CR-28FBやUF-26など来シーズンのニューモデルはヤマハブランドらしく完成度の高い商品が揃っていますので、他社をアツといわせるほど売っていききたいですね。



〈くろしお〉鈴木雅博さん
宮城県宮城郡

多彩なバリエーションが ユーザーニーズをカバーする ミドルボートのUF-26に期待

新 型のハルを取り入れたUF-26には期待が大きいですね。26フィート自体ちようどいい大きさです。金額的にも魅力を感じられるモデルです。走りについても安定感や凌波性はすくなくいいですよ。静止安定性や風流れを抑えた船型は説明通り、同じクラスのボートに比べ格段に良くもなっています。あとバリエーションが豊富なところもセールスポイントですね。エンジンにしる、ビルジキールにしる、ユ一ザ一の予算と好みで選択できる商品ですからね。釣り目的のオーナーさんが多いうちのエリアでは期待の大きいボートですね。



〈函館マジマ〉間島正彦さん
北海道函館市



トータルパフォーマンスに優れたUF-26 居住空間の快適さもセールスポイント



〈大谷マリン〉大谷憲作さん
大阪府阪南市

E ユ一モデルのUF-26はV型ハルの走行性能と個室のトイレルームがセールスポイントです。ドライブ船の好みもありますがタックル23や25の代替艇としての魅力は充分に感じられます。内装の造りもヤマハならではの、トータルバランスが求められる走行性能は他社の一歩先を行っています。フィッティングメイト21も新規を対象に売れるモデルだと思えます。長尺物が入るスペースは同クラスにはないセールスポイントですし、エンジンバリエーションの多さが魅力的ですね。

完成度の高いニューモデル UF-26とUF-28のセールスポイントは 豊富なユーティリティースペース

E 河湾での主力商品は和船タイプのボートと船外機です。最近では4ストロークの需要が高いのが特徴的です。やはりユ一ザ一さんでは、燃費の良さを評価される方が多いです。ボートでは、23、25フィートクラスが圧倒的に多く、1人か2人で底釣りを楽しむスタイルが定着しているものですが、来シーズンあたりもそのクラスが主力になると睨んでいます。今回の試乗会では私のところで扱う商品とは少々違いますがUF-26、28がいいですね。織装のし易さをはじめ、シート下の物入れなど、使い勝手が向上しています。全商品を通じて感じたのは仕上げの良さとか、質感の良さですね。完成度の高いボートが揃っていると思いますよ。



〈糟谷造船所〉糟谷廣康さん
愛知県幡豆郡



標準装備が充実している 今度のFishing Mate21は見逃せない



〈高原マリーナ〉
高原一男さん
徳島県徳島市

ウチはその年の天候や釣果によって商品の出足がすぐに変わるんですよ。客層はMJとプレジャーと遊漁の3つに分かれるのですが、今年は天候も良かったので、若者たちの間で流行っているウエイクボードの影響で21 sea view (FR21)に人気が集まりましたね。今回のニューモデルで注目したのはフィッシングメイト21と4ストロークのF115です。もともと21クラスで和船、船外機を選ばれるお客様が多いので、後継装で色々対応してきたのですが、センターコンソールに加えて長尺物入が設定されていて、非常に便利だと思えます。これならロッドを船に載せたままでも、盗難の心配がありませんからね。標準装備も充実しているから、後付けにすると高くなる和船と比べても売りやすポートです。F115はF1を採用した分、トルク感や加速感が鋭い印象を受けました。業務ユーザーの中には1日6時間使われる漁師さんもあるんだけど、ヤマハの4ストロークはよく耐えてくれるといわれます。船外機ではF115やF40Bといった商品を生シーズンにはバンバン売っていきたくですね。

Z200NとF115は来シーズンの注目商品 積極的にアピールしたい

個人的な関心でC.R.28FBに乗ってみたのですが、商品説明以上のポートですね。フライブリッジに乗りましたが、ちょうどいい大きさといい、乗り心地といい文句無しです。キャビンの造りもスペース無駄なく使えるよう工夫されていますよね。

来シーズンの期待は船外機です。和船、船外機が主力商品の地域ですから、Z200NやF115を拡販できればと思います。ふたつの商品は話題性もありますし、乗った感じでは加速性もいい。どんどんアピールして売っていきたくですね。



〈津田商会〉津田俊邦さん
北海道野付郡

F115は来期の主力商品 ラインナップの充実で拡販したい



〈サンコーマリン〉
浜川満さん
徳島県鳴門市

F115はとてもいいですね。パワー感、静かさ、そして吹上げがリ具合が。私の地方の鳴門では、エンジンをかけてたままで行う流し釣りがポピュラーですが、そういう時、排気ガスの少ない4ストロークは臭いが気にならない。そして燃費のいいところも見逃せませんよ。お客様のいいところは音が静かなため、エンジンをかけたまま揚がってく人もいるくらいです(笑)。ヤマハの4ストロークは自信を持って奨められる商品ばかりなので、展示会をやった積極的に拡販していきたくと思います。

Z200Nは話題以上のパフォーマンス ランニングコストのPRで拡販間違いなし



〈タカハシ〉高橋哲郎さん
新潟県柏崎市

CR28FBは走りの面にしても、船自体の造り込みを見ても、トータルバランスがよく、まとまっている船という印象を受けました。HPDIを搭載したZ200Nバージョンも気になりました。いままでよりもスピード性能が向上しているだけでなく、燃費といったランニングコストを考えてみればコストパフォーマンスが非常に高く、お客様に対してもZ200Nのメカニカルな話題以上に実用性の面でアピールできると思っています。今後のHPDIシリーズに期待が持てますね。



21世紀のマリンビジネスに向けて 2000年マリン商戦スタート

タックルユーザーにはUF-26を 代替需要の起爆剤として期待

既 存のタックルユーザーにはUF-26をぶつけていきたいですね。試乗した印象では新開発のハルの良さ、凌波性ですとかスピード性能ですとか、そういったものがすぐに伝わってききました。また、流し釣りをする時でも風流れを抑えた船体に仕上がっていますのでユーザーにとっては非常に魅力的に感じるのではないのでしょうか。日本海側では漁船ベイスのボートに人気を集めるのですが、このUF-26でしたら、タックルユーザーを中心に必ず人気が出るボートだと思います。



〈庄内マリンサービス〉松浦豊司さん
山形県酒田市

Tackle-25の完成度は圧巻 FIモデルがハイレベル

船 外機を中心にいろいろ試乗しているのですが、タックル25につけられた150馬力のF1モデルが良かったですね。Z200NやF115など来年の船外機は話題が豊富で期待しているのですが、この150もいんですよ。加速性や旋回性能など、非常に高いレベルです。タックル25自体もマイナーチェンジでクオリティが上がっていますね。



〈栄屋商店〉櫻井勝さん
千葉県木更津市

マイナーチェンジのTackle-25は 造りや質感が違う

ウ 子のお客様にはキャビン付のタックル23、25といったモデルの人気の高さを注目を集めています。今度のタックル25はマイナーチェンジとはいえ、造りや質感にこだわった仕上がりになっており、期待のできるボートです。

最近では「家族で」というユーザーさんが大多数を占めるのでトイレのオプションは必需品ですし、ルームライトがついたキャビンもただの物入れとしてではなく、居住スペースとしてアピールできます。

25は27フィートの船外機艇、特にタックルあがりのユーザーには人気が出ると思



〈アオキボート〉風間清さん
東京都世田谷区



ニューモデルの手応え 編集部が聞いた 注目モデルの印象

多くの試乗者を集めていたUF-26やCR-28FBではトータルでの性能を評価する声が高かった。くろしおの鈴木雅博社長は「UF-26やCR-28FBの良さというものはトータルパフォーマンスの高さなんです。走行性能や居住性、外観の良さ、どれも高いレベルで造り込まれている。このどれをとっても、というのがヤマハの総合力であり、他社が真似できないところなんですよ」と製品のパフォーマンスの高さを評価する。

また、函館マジマ専務の間島正彦さんは「UF-26に採用されている新型のVハル船型は今後フィッシングボートの主流になると思います。走行性、安定性でもワンランク上ですね」という。

一方、小型フィッシングボートで注目を集めていたのがフィッシングメイト21だ。「船外機のバリエーションが多くなったのと、収納性が向上しているので、和船、船外機のユーザーを中心に代替が期待できます。機装の点もセールスポイントですね」と話すのは高原マリナーの高原一男さん。凌波性も向上し、オープンタイプのユーザーには価格面でも訴求できると手応えを掴んでいる。機装性、収納性、エンジンバリエーションの多さ、内海での底釣りを楽しむ新規ユーザーにはぜひ勧めたいモデルである。その他、船外機でもZ200NやF40Bを始め、今秋発売予定の4ストロークエンジンF115に注目が集まっていた。

ニューモデルの試乗会が終わってからは「早く展示会を開いてお客様に新商品のポテンシャルを伝えたい」という声もあがった。21世紀に向け、マリンビジネスの起点となる2000年。お客様一人一人に最高の価値の提供を目指す。そのような販売店様の意気込みが十分に伝わってくる試乗会だった。

底辺層の拡大に期待がかかる5級小型船舶免許。受講生に聞く、その動機と目的

不況が長引き明るい話題が少ない昨今だが、こと小型船舶免許の世界では5級という新たな資格の誕生とともに活況を呈している。今年の4月20日に公示され5月20日から試験が開始されたこの免許は、月を追うごとに受講者数が倍増、ときには3倍増といった勢いで伸びており、マリネレジャー人口の拡大に期待がかけられるようになった。今回は、受講者やスクール関係者などからの声を集め、いま話題沸騰の5級小型船舶免許の実態に迫ってみた。

いま申し込んでも受講できるのは2カ月先

ヤマハマリーナ琵琶湖では、4月20日に公示された後、ただちにスクール受講生の募集をはじめ、現在までフル稼働で5級小型船舶免許の普及に努めている。教習艇は3艇を用意。それでも間に合わないときは、試験艇を借りて対応するなど、スクールの人気は天井知らずといったところである。「私もでは1回の講習で36名が限度なのですが、多いときは50名近くも集まり、うれしい悲鳴をあげてしまいます。国家試験は月に2回あり、それに合わせてスクールの日程を組んでいます。今申し込まれても受講できるのは約2カ月先の状況です」と、ハーバーマスターの渡辺さん。

同スクールでは、5月20日の初回国家試験から9月末までに約500名の受講者を集めている。これは昨年同期の4級小型船舶免許の受講者数と比較すると、1・5倍近い数になるという。「他のスクールであふれた人がやってくるケースも少なくありません。どこも対応し

きれないほどの人気なのでしょう」

予想以上の反響に同スクールでは、いま教習艇を増やすことを考えはじめたという。

行動半径、陸岸から1マイルは気になりません

5級小型船舶免許の魅力といえば、講習1日、試験1日で取得できる手軽さ、そして6万円前後で取得可能な点にある。4級小型船舶を取得するには10万円前後が必要なので、費用の魅力は大きい。先に述べた5級小型船舶免許の人気が見ると、手間とお金がネックになってマリネレジャーを楽しむことを躊躇していた潜在需要者がいかに多かったかを知ることができる。

4級小型船舶免許と比較した際のウィークポイントは、行動半径が陸岸から1マイルに限定されていることだが、声を拾ったかぎりでは言えば当の受講者はさほど気にしていない様子である。琵琶湖は平水なので、この条件はクリアされてしまうが、それでも瀬戸内内乗るといった受講者などでも気にしていないと答えていた。「免許があるの



離岸着岸の練習。5級になって実技ではスラローム航行が省略された

とないのでは大違い」といった受講者の声が正直な気持ちなのだ。とにかく、ピギナーは免許を取って1日も早く海に出たいのである。そこで、もっと興味を抱いたら上級免許を取得すればよいと考えている。

手軽さはいいが5級も立派な海技免許

インストラクターの側から話をうかがうと、「4級では、大半の受講者が運動靴を持参してきますが、5級では草履やサンダル



エンジンケースを開けて機関の口答試問を練習する受講生。省略されている点もあるが、基本的には4級と同じ内容で講習が進められている



ロープワークも学ぶ種類が少なくなっている

履きで来る人もいます。受講の心構えに多少の差が出ています。募集をする際、取得のイメージをアピールするのはいいのですが、こと心構えに関しては、ある程度、海に臨む際のレクチャーも大切だと思います」とのこと。

実際に、「講習は思ったほどやさしくはありませんでした。覚えることが多いですね」と受講生は口をそろえた。いくら簡単に取れるとはいえ、立派な海技免許である。そのことを、しっかり受講生に知ってもらふこ

受講生の声

受講者の声をまとめてみると、やはり「少ない時間で済むから取る気になった」、「4級小型船舶では10万円ほどかかるので、なかなか取れなかった。」(5級小型船舶の)5万8千円は魅力といった声があがっている。

なお、琵琶湖というロケーション上、受講者の大半がマリッジエットを目的としている。手軽に免許が取ればマリッジエットに乗りたいたいという層が、かなりいると言えよう。中高年の受講者からも聞くことができた点にも注目したい。マリッジエットは若者の乗り物という概念はだいぶ薄らぎ、広範囲の年齢層に魅力が浸透していることがうかがえる。



●西田さん (42歳)

バス・フィッシングがしたくて免許を取りに来ました。バスなので淡水しか乗りませんから、5級で十分なんです。受かったら、バスポートは高くても買えませんが、まず小型船外機のポートを手に入れようと思っています。



●松本さん (42歳)

4級の場合、都合4日間仕事を休まなければならないし、10万円の予算は大きい。5級なら2日間で5万8千円。初心者でしたら、だいぶ取りやすいですよ。マリッジエットに乗りたいたいと思っているのですが、これなら海でも1マイル以内で十分楽しめるのではと思っています。



●伊藤さん (27歳)ほか友人2名

夏、マリッジエットで遊びたいので受けに来ました。4級免許は知っていましたが、琵琶湖の場合は(平水なので)5級でも遠くに行けるので、これがいいと思いました。講習は思ったより難しかったですね。



●山本さん (24歳)

楽に取れると思って受講したのですが、ちゃんと勉強しなければと感じました。陸岸1マイルは少し気になりますが、遠くに行きたいと思うようになったら4級を取れば良いと思います。免許があるのとないのでは大違いですよ。



●島田さん (24歳)

去年マリッジエットに乗りたくて4級を取ろうと思っていたところ、今年になって、5級ができました。講習・試験が2日間で済むのが魅力ですね。実家がある瀬戸内で乗ろうと思っていますが、陸岸1マイルの行動半径で十分です。



●小林さん (53歳)

ボートもジェットも持っていますが、これまでは免許のある人といっしょに乗っていました。でも、ボートはともかくジェットは自分一人で乗りたいですよね。



●森さん (28歳)

琵琶湖でマリッジエットに乗ろうと思い、4級を取るつもりでいたら安く取れる5級ができたので、これにしました。釣りもしますが、海に出たとしても1マイル沖を走れたら十分ではないでしょうか。



学科講習では、空き缶を使ってシリンダーの説明が分かりやすく行われていた。各教科ともポイントさえしっかり勉強していれば、まず合格できるとい

とも必要であろう。インタビュを重なるうちに、多くの人が手軽に取れるボート免許を望んでいたことが判った。その人たちは、これまでマリッジエットや潜水需要者層であったが、この5級小型船舶免許の登場によって、いま顕在需要者になろうとしている。これは景気低迷の煽りを受けているマリッジエット業界にとって朗報以外のなにものでもない。ボートの大衆化が叫ばれてからは、はや数年が経とうとしている中、彼らからは、免許を取ってからの具体的なマリッジエットを描く声が多く聞かれた。

マリッジエットやバスポートのオーナーとして、年齢を問わずマリッジエットやボートライフへの夢を持っている免許取得者が次々と誕生していることは、ボートビジネスを行う我々にとってもビジネスチャンスの拡大につながるのではないだろうか。

ワタミフードサービス (外食業)

伸び悩みを指摘されて久しい外食産業だが、ワタミフードサービス(株)はそんな苦境をものともせず、業績を伸ばしている。同社の展開する居食屋「和民」とファミリーコミュニティレストラン「和み亭」は、「お客様に感動を与える店作りを」「お店はお客様だけのものである」という理念に添った店舗作りを徹底。その背景には、「自らの魂の叫び」という同社の経営理念があった。

「思い」を込めた接客サービスを徹底

価格競争による低価格化が進み、客単価の下落傾向が続く外食産業。個人消費の低迷に伴い、利用者総数も前年割れを続けている。各企業は、店舗数を増加させることで売上高を前年増に持ち込んでいるが、依然厳しい状況だ。

そのような中、ワタミフードサービス(株)は好調に業績、出店数を伸ばし、外食産業の内外を問わず注目を集めている。9月16日付の日経新聞の優良企業ランキングでは、外食産業としては1位となっており、その躍進ぶりがうかがえる。同社が展開するのは、居食屋「和民」とファミリーコミュニティレストラン「和み亭」。いずれも接客に力を入れ、和みの時間と空間を提供するという点では一貫し

ている。

「接客サービスに、マニュアルなんていないと思うんです」と渡邊美樹社長。接客にマニュアルを持ち込んだ先駆けと言われる外食産業にあって、真っ向からそれに反対する。

「お客様が望むことは、その場その場で違います。マニュアルでは臨機応変な対応ができないんですよ。同じサービスを提供しても、人によっては、あるいは状況によっては、受け止め方が全然違ってくるでしょう?」

マニュアルなしで、どのようにして高レベルな接客サービスを提供するのか。渡邊社長は「愛だ」と言う。

「どれだけお客様を愛せるかに尽きますね。つまり、お客様の喜びを自分の喜びとして、お客様の悲しみを自分の悲しみとして受け止めることができるかどうか、ということですよ」

マニュアルではなく、「思い」でお客様に接する。このことをアルバイトを含めた従業員に徹底するのは、マニュアルに従わせるよりはるかに困難だ。

「実際、難しいんですよ」と苦笑いする渡邊社長。社長自らが執り行う研修、社長が語りかけるビデオレター、店舗での出来事や感想を記すレポートの提出など、ありとあらゆる方法で、「思い」による接客を従業員に徹底させている。

経営目的はお題目ではなく 生き方そのもの、魂の叫びだ

ワタミフードサービス(株)の社長室に掲げられた「経営目的」には、こんな文面

が記されている。

一、一人でも多くのお客様にあらゆる出会いとふれあいの場と安らぎの空間を提供すること

一、会社の繁栄、社員の幸福、関連会社、取引業者の繁栄、新しい文化の創造、人類社会の発展、人類の幸福への貢献

この文面だけを読んでも、ワタミフードサービス(株)の成功の秘密は見当たらない。こういった経営目的は多くの企業が掲げているからだ。

成功の秘密はどこに隠されているのだろうか。

「運が良くて、いい人に巡り合えただけです」と社長は笑う。謙虚に明るく、ひたすら努力をすること、そして経営の定石をはずさないことだ、と。

しかしそれだけが、創業わずか12年で店頭公開まで至った急成長の理由ではない。

「この経営目的は、僕の生き方そのものを表しているんですよ」と、渡邊社長。

学生時代、世界各地を巡る旅をした時、「おいしい食べ物の前に、良い雰囲気の中、好きな人や大切な家族と一緒にいる時、人は素晴らしい笑顔で浮かべる」ということが、世界共通だと気付いた。それが一つの経営目的、「出会いとふれあい



「思い」を込めたサービスを展開する〈和民〉

と安らぎの空間を提供」を生んだ。

26歳の時、居酒屋「ほ八」の経営などで1億円の財産を手にした渡邊社長は、「このお金は僕のものではない」と感じた。

「自分ひとりでこんなお金が作れるはずがない。全部社員のおかげなんです。僕はそのことに恩返ししたい。だから、従業員にも「この会社があつて良かった」と思われる会社になりたいと思っています」

そして生まれたのが、二つ目の経営目的、「社員・関連・取引業者、人類の幸福への貢献」である。

これらの経営目的は、会社のために掲げられたのではない、と渡邊社長は強調する。

「逆です。この目的を達成するための会社なんです。だから単なるお題目じゃない、僕の魂の叫びなんですよ」

安全・安心な食材の確保、廃棄物・消費エネルギーの削減などにより、国際環境規格ISO14001の認証を取得したのも、その一環だ。単に「企業体」として環



各地に設けられた契約栽培場。お客様への安心感を提供すると共に、農業、漁業といった産地の学習も行われている



従業員ひとりひとりがお客様の立場をどれだけ理解して接客できるか。従業員のほんの些細な心遣いがお客様の満足感を高める



境問題に取り組むのではなく、パート、アルバイトを含めた全スタッフに、環境意識を持って行動してもらおうのだからと言う。

「人間は誰でも美しい資質を持っている。それを高めてあげたい」

夢に締め切りを設定し 今日すべきことを明確に

ワタミフードサービスの前進はまだ止まらない。

「経営目的を、より深く、より広く達成していかななくてはならない。例えば、安全な食材を確保するために北海道・帯広で契約栽培をしています。栽培面積はまだまだ少ない。また、抗生物質フリーの魚を養殖していますが、これもまだ若ブリだけです。もちろん、その他の食材も安全性には徹底的にこだわっています。が、もっと深めていきたいんです」

店舗数を増やし、会社としての体力を増強するのも、これらの目的をより高次元で達成するためのものだ。

渡邊社長が常々発する言葉に、「夢に日付を」というものがある。

「漠然と夢を描いているだけでは、いつまでも達成されない。夢の達成に締め切り日を設ければ、今日、何をすればいいかが明確になる。そして今日の行動が、明日への行動につながるんです」

社長自身の経験と「心」から生まれた経営目的、その達成のための企業体、そして、夢への着実な前進。渡邊社長はこう締めくくった。

「どの企業も同じようなことを考えているはず。結局はその徹底度と、思い込みの違いだと、僕は思いますね」

■取材を終えて

心の叫びとして生まれた経営目的の達成に向け邁進する社長には、人間的な強さ、リーダーシップを感じる。この先順調に出店数が伸び、従業員数が増えた時、社長の理念は薄まりませんか、と尋ねたところ、「僕の分身をたくさん作ればいいんですよ」と笑った。

PROFILE

ワタミフードサービス株式会社

- 創業：1984年5月
- 資本金：17億6667万5000円
(平成10年8月末現在)
- 社員数：308名 (平成11年3月末現在)
- パート・アルバイト在籍数：4000名
(平成11年3月末現在)
- 事業内容：居食屋「和民」、ファミリーコミュニティレストラン「和み亭」
- 店舗数：127店舗



渡邊美樹(わたなべみぎ)

ワタミフードサービス(株)代表取締役。1959年生まれ。'84年に(有)渡美商事設立。'86年、(株)ワタミ(現ワタミフードサービス(株))を設立し、代表取締役就任。PC-27オーナーで、月に1回は海に出る。「陸ではひとりになれる時間がない。自分の考えを整理する貴重な時間です」。東京湾の汚染を目にしたことが、環境ISO14001取得の契機にもなった。



2000ヤマハマリナーリザーブキャプテンセール実施中!! 99年10月1日より12月末日まで

いよいよスタートを切った2000年のマリナービジネス。ヤマハではこの時期、恒例の早期受注促進キャンペーンを実施。「2000ヤマハマリナーリザーブキャプテンセール」として展開いたします。

また、各種DMハガキやチラシなど、ツールも豊富にご用意いたしましたので、ぜひご活用いただき、一人でも多くのお客様にお知らせください。
● キャンペーン内容：期間中にキャンペーン対象モデルをこ

●案内DMハガキ



●案内DMハガキ (圧着メール)



●案内封筒



●ステッカーセット (B2サイズ)



●案内カタログ (10頁)



ここにご紹介したほか、案内ケースや挨拶状などもご用意しております。

予約いただいたお客様に、キャプテン名・進水日・船名を打ちこんだマリナームードいっぱい「キャプテンウッドデッキラフトボード」をプレゼントいたします。
● 実施期間：1999年10月1日～12月31日
● 対象モデル：全長17フィート以上のボート、24フィート以上のヨット
※詳細はお近くの担当セールスマンにお問い合わせください。



ヤマハ2000年ニューモデル展示・試乗会

2000年ニューモデルの展示・試乗会を全国各地で開催してまいります。話題のニューモデルをいち早くお客様にご覧いただくチャンスです。ぜひお客様をお誘いになり、ご活用ください。

※開催地、および日程は変更となる場合がございます。ご了承ください。また、詳細は担当セールスマンにお問い合わせください。

〈ヤマハ2000年ニューモデル展示・試乗会〉各地で開催 話題のニューモデル、人気のラインナップ艇が勢ぞろい

◆2000年ニューモデル展示・試乗会スケジュール

北海道地区	10月16日～17日	マリナーウェーブ小樽/小樽市 (展示・試乗会)
	10月16日～17日	北浜マリナーベース/塩釜市 (展示・試乗会)
東北地区	10月23日～24日	青森マリナー/青森市 (展示・試乗会)
	11月6日～7日	秋田マリナー/秋田市 (展示・試乗会)
東京地区	10月8日～10日	セントラル/木更津市 (展示会)
	10月8日～10日	マリナーセンター横浜/横浜市 (展示会)
	10月16日～17日	タカハシ/新潟市 (展示会)
	10月23日～24日	葉山マリナー/葉山町 (試乗会)
	10月30日～31日	夢の島マリナー/江東区 (試乗会)
中部地区	10月16日～17日	ヤマハ物流センター蒲郡/蒲郡市 (展示会)
	10月23日～24日	マリナー河芸/河芸町 (試乗会)
	10月30日～31日	ヤマハボート北陸店/金沢市 (展示会)
	10月1日～3日	新西宮ヨットハーバー/西宮市 (展示会)
関西地区	10月16日～17日	関空マリナー/泉佐野市 (試乗会)
中国地区	10月9日～11日	広島・中小企業会館南隣特設会場/広島市 (展示会)
	10月16日～17日	岡山マリナー/岡山市 (展示・試乗会)
四国地区	10月16日～17日	高松・第一健康ランド/高松市 (展示会)
	10月23日～24日	ヤマハボート松山店/松山市 (展示会)
九州地区	10月9日～11日	マリノア/福岡市 (展示・試乗会)
	10月16日～17日	ヤマハ西九州/時津町 (展示会)
	10月23日～24日	ヤマハ熊本/熊本市 (展示会)
	10月30日～31日	ヤマハボート鹿児島/鹿児島市 (展示会)

*日程、会場等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

ツールの差し替えはお早め!

ニューモデルの登場、さらに既存モデルのグラフィック変更、仕様変更に伴い、ヤマハではラインナップカタログや単体カタログの一部、ポスター、またセールスマニアル等を刷新しております。

2000年マリナービジネス

スタートとなるこの時期、お早めに新たなツールを導入され、2000年モデルの早期営業展開をお願いいたします。





シーズン真っ盛り。 各地で盛況・開催中 「ヤマハボートフィッシングコンテスト」

「販売店様の新たなお客様創造」のイベントとして企画されたフィッシングコンテスト。すでに全国各地で開催され、多くの販売店様が効果を上げています。ますます深まるフィッシングシーズンのなか、さらなる積極的な開催をお願いいたします。



大会概要

●開催期間：平成11年5月1日～11月30日

●開催日は実施主催者が決定

●競技方法：ボート釣りの部、陸釣りの部

●競技規定：釣竿の使用、餌および仕掛け、競技時間、競技水域等は主催者で決定

●表彰・実施主催者サイドで決定

全国統一賞典

●コンテストツアーの実施
テスト優勝者の中より、全国8ブロック抽選で各1名様を沖縄の伊江島リゾートライフ2泊3日に招待いたします。

●ヤマハフィッシングコンテスト大物賞

コンテストで釣り上げた最大の大物サイズを規定の申請書に記入の上、写真と共に本部へ申請。前年までの記録を更新された方にルアーセットをプレゼント。

※その他各種運営ツール、賞品セット等をご用意しておりますので、有効にご活用ください。

ヤマハボート免許教室5級開設記念 マリッジット5.5(ユーゴ)キャンペーン実施中

ヤマハではヤマハボート免許教室5級の新設を記念して、マリッジット5.5の拡販を目的としたキャンペーンを実施中です。ぜひ免許申込者、既取得者にお知らせいただき、マリッジットの「拡販にお役立てください。」

●キャンペーン内容：期間中、ヤマハボート免許教室にて5級免許を取得した方に、MJ購入時に利用できる5万円

海の生活。Charve Jet
5.5
ユーゴ
キャンペーン

ヤマハボート免許教室5級免許取得記念
マリッジット99モデル
5万円得するキャンペーン

対象：5級免許取得時～10月31日の受講者
(クーポン有効期間：1999年11月30日まで)

マリッジット5.5 MJ-500TZ ¥999,000	マリッジット5.5 MJ-800GP ¥1,150,000	マリッジット5.5 MJ-1200GP ¥1,340,000	マリッジット5.5 MJ-700XL LTO ¥999,000
-----------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------

インターネットを利用してディンギー造りを実現 「ユーザー参加型ウェブディンギープロジェクト」

ヤマハのホームページ
(<http://www.yamaha-motor.co.jp/dinghy/index.html>)
ではユーザー参加型の「ウェブディンギープロジェクト」を展開中です。このキャンペーン

企画は、2000年の東京国際ボートショー・ヤマハブースにそのモデル艇を展示すること

を最終目標において、一般の方々からのさまざまなアイデアを取り入れて、実際にセーリングできるディンギーを設計・製造するものです。

すでにコンセプトステージが終了し、本誌がお手元に届く頃は、フジビリティステージの段階で、コンセプトを具体的な

型にして、ホームページ上で公開。みなさまからの意見をいただきながら現実性を一歩一歩高めて行きます。ご注目ください。

●フジビリティステージ
10月5日～11月15日

●プロダクトステージ
11月16日～

コンセプトディンギーを実物モデルとして製作。その経過をホームページ上で公開しながら2月の東京国際ボートショーの出品を目指します。

HPDI船外機「Z200N」が IMTECイノベーションアワードを受賞

昨年の一MTEC(International Marine Trades Exhibit Conference)において参考出品された話題を呼んだHPDI。そのHPDIを搭載、商品化した200馬力船外機「Z200N」が今年8月に米国フロリダ州のオーランドにて開催された「IMTEC」においてNMA(National Marine Manufacturers Association)のイノベーションアワードを受賞しました。

これは毎年IMTECに出品された製品を対象に米国の主要マリナー業界誌によって選出される賞で、業界にとって革新的な優れた技術を採用した製品に対して贈られる賞です。

また単なる技術力の目新しさだけでなく、業界に対する貢献度、価格、デザインなど、様々な要素が選考基準となっています。

HPDIは業界では初めての高圧筒内直噴式の2ストローク用インジェクションシステムで、従来にない優れた燃焼効率により、突出した燃費性能と対環境性能を実現したシステムとして注目されています。国内でも10月に発売されるCR27SE DANやFC26などにも同船外機を搭載したバリエーションが追加され、話題を呼んでいます。

YAMAHA
風、水、自然を楽しむ
遊びの道具開発
Web-Dinghy 2000
Development Project

STEP1 背景コンセプト集計結果



ニューモデル・セイリングクルーザー
「YAMAHA 30S」のデビューレース
「ブルメリア」が相模湾で堂々優勝

今年の東京国際ポートショーで発表以来、高性能の評価を得、その実力が期待されていたセイリングクルーザー「YAMAHA 30S」の1号艇が8月29日に神奈川県で行われた「相模湾ヨットフェスティバル」のレースにおいてデビューし、見事優勝を勝ち取りました。

デビュー・ウインを飾ったのは葉山マリナをホームポートに活動するブルメリアです。7隻が参加した「相模湾ヨットフェスティバル」は夏の定番イベントとして人気のあるレース。



クラブレースで勝てるポर्टというコンセプトを文字どおり実現した「YAMAHA 30S」は今後も各地のレースで旋風を巻き起こしそうです。

ブラインドセーリングの世界選手権に
日本から3チームがエントリー

10月16日から22日の8日間、アメリカ・フロリダ州のマイアミで開催されるブラインドセーリングの世界大会「ワールド・ブラインド・セーリング・チャンピオンシップ」に日本から3チームが出場することになりました。世界選手権にはB1（全盲に近い）・B2（明暗が分かる程度）・B3（水平線が分かる程度）の3クラスが設けられており、このうち3クラスの全てにエントリーしているのは日本、イギリス、ニュージーランド

ド、フィンランドそして主催国のアメリカ（9月現在）。

1996年に設立された日本本視覚障害者セーリング協会が会長を務める竹脇義果氏がチームの牽引役となりますが「昨年のイギリス大会に続いて2回目の参加ですが、今回は前回の銅メダル以上の成績が目標です」と意気込んでいます。

8月12日から14日の3日間はヤマハマリナ浜名湖で合宿が行われました。（財）日本マリンスポーツ普及教育振興財団が

ソーラー&人力ポर्टレース
全日本選手権大会 1999

8月28〜29日の2日間、静岡県立三ヶ日青年の家を会場に「ソーラー&人力ポर्टレース」全日本選手権大会1999が盛大に開催されました。

今大会には人力ポर्टA（水中翼有り）に10艇、人力ポर्टB（水中翼無し）に14艇、ソーラーポर्टA（水中翼有り・480W）に9艇、ソーラーポर्टB（水中翼無し・100W）に11艇、ハイブリッドに1艇の全45艇がエントリー。ソーラーVS人力の異種格闘技戦はもちろん、それぞれのクラスの盟主争いが大いに注目されました。

同じヤマハ発動機のチーム「ギト99」とスーパーフェニックスの盟主争いが注目された人力部門では、「パワーアツプを狙いプロペラをアルミからスチールにした」というコギトが2位以下を完璧に抑えて優勝を果たしました。



推進役として尽力する日高茂樹氏をはじめとするスタッフがその活動をサポートしています。「日本でも環境は整いつつあるものの、まだ珍しがられているのも確か。施設や道具ばかりではなく、人の心のバリエーションも無くていくのが21世紀に進むべき方向なのではないでしょうか。われわれの活動を通じてそうした考えをアピールするたためにも、選手権へのフルエントリーは意義のあることと思っております」と竹脇さんは語っています。



いよいよ開幕
第30回アメリカスカップ

世界最高峰といわれ国と国との威信を賭けて戦われるヨットレース「アメリカスカップ」のチャレンジャーシリーズがいよいよ10月18日よりニュージーランドのオークランドにて開幕します。

3度目の挑戦となるニッポンチャレンジャーはオークストリアの名スキッパー、ピーター・ギルモアを艦長に据え万全の体制でオークランド入り。少なくとも過去2回の成績を上回ることを期待されていますが、挑戦艇選抜レースを制しアメリカスカップ本戦に参加、カップ獲得を目指すのがニッポンチャレンジャーの最終目標です。



第30回アメリカスカップ概要			
ルイ・ヴィトンカップ (チャレンジャーシリーズ)			
ラウンドロビンI	99年10月18日より	12.5マイル	1日2レース 1点/1勝
ラウンドロビンII	99年11月6日より	18.5マイル	1日1レース 4点/1勝
ラウンドロビンIII	99年12月2日より	18.5マイル	1日1レース 9点/1勝
▼上記の上位6チームによるセミファイナル			
ラウンドロビン3回	2000年1月2日より	18.5マイル	1日1レース
▼上記の上位2チームによるファイナル			
9戦5先勝	2000年1月25日より	18.5マイル	1日1レース
上記の勝者がニュージーランドへの挑戦権を獲得			
第30回アメリカスカップ			
9戦5先勝	2000年2月19日より	18.5マイル	1日1レース
※近年、カップに挑むヨットクラブが増えているため、挑戦艇を選抜するレースがア杯の直前に行われる。これに勝って初めてカップ保持クラブと対戦する権利を得ることができる。2000年ア杯に先駆け、挑戦艇選抜レースは今年10月から約4か月かけて、8カ国13チームの間で行なわれる。またア杯本戦は2月19日にスタートする。			
使用艇	ACC (国際アメリカスカップ・クラス)		
コース	風上&風下タイプ (UP WINDスタート/ DOWN WINDフィニッシュ)		
レース海域	ニュージーランド・オークランド沖 イースト・コースト・ベイ		
防衛ヨットクラブ	ロイヤル・ニュージーランド・ヨット・スクォードロン		

外洋でのホエールウォッチングを 可能にしたダイビングボート **DY-45G Diving**



美しいサンゴの海を資源に持つ亜熱帯の南国・沖縄は、国内でも有数のダイビングスポットだ。特に沖縄本島の西に浮かぶ慶良間諸島は年間を通じて多くのダイバー達を訪れる。加えて、ここ10年の間に、この海域を回遊する数多くのクジラを見ようというホエールウォッチングも注目されだしている。

事業主にとってはダイビングのオフシーズンにホエールウォッチングを営業できるのだから言うことナシではあるが、従来のダイビングボート（ドライブ船が主流）ではホエールウォッチングに兼用しづらいという現実がある。こうした環境の中、生まれたのがここに紹介するダイビングボート「DY-45G Diving」である。

コンセプトはダイビングにもホエールウォッチングにも高い満足が得られる機能性。具体的には20名以上の定員が確保でき、ウォッチング用のサンデッキとパウデッキを有すること、観光客に受け入れられるデザイン、そしてダイビングボートとしての機能性（フラットフォーム、物入れ、シャワーなど）である。しかし、このボートの中でもっとも「らしさ」を強調できるのは船体そのものかもしれない。

船名が示すとおり、船体にはDY-45Gを採用した。このDY-45Gは群を抜く外洋での走行性能がセールスポイントで、西日本の漁業者を中心に爆発的な人気を誇る「漁船」である。ハルはダブルチャインのキール仕様。凌波性と走行性については言うまでもなく、特織でビルジキールを採用することで、タダでさえ優れた横安定性はさらに向上する。

また、サンデッキやブリッジなどの上物はDY-39M、DY-43R、DY-50Bといった、特に高速・外洋漁船として漁業従事者から高い評価を受けている他のモデルに搭載が可能なのだ。つまり事業主の細かいニーズに対応が可能なのである。

既存のハルをベースにした特別仕様艇の開発は離島におけるタクシーボートや、警戒船など多数あるが、いずれも、ハルの完成度が高いからこそできる業といえる。

DY-45 Diving

- 全長：13.78m
- 全幅：3.20m
- 全深さ：1.64m
- 総トン数：4.9トン
- 搭載エンジン：ヤマハMD860KUH
- 最大搭載馬力：345.7kw (470ps)
- 燃料タンク容量：500リットル×2
- 定員：23名
- 航行区域：限定沿海

展示効果を高めた新店舗をオープン
レジャー需要の掘り起しを狙う

宮城県石巻市

野村モーターズ



石巻市内にはマリーナ施設が無く、多くのオーナーは河川に係留しているという



市内でも最も交通量の多い交差点のすぐ脇に店舗を構える。信号待ちでボートを眺める運転手も多いという



北上川の河口に位置し、三陸漁場の拠点として知られる宮城県石巻市。現在ではカキやワカメ、ホタテの養殖が盛んに行われているこの地で、創業以来41年間に渡ってご商売をされているのが野村モーターズさんである。

同社専務の野村和宏さんにお話を聞いた。

「創業は戦後間もなく、会社としては昭和33年からです。もともと以前は名前の通り、オートバイを主に扱っていたのですが、お客様には漁師さんが多かったため、ヤマハが船外機を発売して、マリナーズを始めると同時にマリナーズの販売を始めた聞いています」

学生の頃はバンド活動をしてきたという野村専務が家に戻ってきたのは今から14年前のこと。大学を卒業して入社したのがヤマハ発動機だった。

「当時も研修制度というのがありましたが、それよりもっと広い視点でヤマハという会社を知りたかったのがきっかけでした。子供の頃からヤマハ製品に囲まれて育ってきたものだから入社してからの違和感とか気負いというのにはなかったですね」

ヤマハに在籍中は漁船のセールスを担当していたという。漁師さんと直に接して商談を進めることなど、今日の基盤もその頃に培われたものが多

かった。

「お客様のほとんどが漁師さんですから信頼関係がもつとも大切です。商売のなかにも親戚付き合いのような感覚で接しなければいけませんし、もし修理が必要な場合にはスピードが求められます。限られたマーケットでどれだけフオーワーできるかが顧客の囲い込みにつながると思います」

今後は業務需要を基盤にレジャーの仕事も積極的に取り組んでいきたいと語る野村専務。9月には住居兼店舗をリニューアルし、展示艇のスペースに重点に置いた店舗をオープンさせた。

「私を含め従業員一同レジャーよりも浜の仕事にとっぴりつかってきただ訳なんです、これからはレジャーにも積極的にならなければと思っただけリニューアルしました。とりわけ人口に対してボートの普及率というのは塩釜や気仙沼など近隣と比べても低いエリアなので、まずはボートの認知度を高めようと思っただけです」

ボートの普及率が低いことはそれだけ潜在需要が見込める。人気の高い釣りといったソフトを活用しながら、今後の拡販を図っていききたいという。

「港や河川ではシーバスフィッシングが盛んなので、まずそういった釣り人に対してポートフィッシングのスタイルを広めなければと思います。具体的にはフィッシングメ

行動力で潜在需要を開拓する。 23カディを展示し、通行客を引き付ける

老朽化を機に店舗の改装に踏み切った野村モーターズさん。市内で最も交通量の多い交差点の脇にショップを構える同店では、その立地条件を利用し、ショップのレイアウトもPR効果に重点を置いた造りとなっている。野村和弘専務は次のように話す。

「店舗の老朽化で郊外への移転も考えたのですが、代々からの土地で市内ではそこそこ知られていますし、交通量の多さからPR度は抜群に高いと思います。業務需要と比べレジャーの割合は10%そこそこですから、関心を持ってもらうためにも、認知してもらうことから始めようと思い、現状の土地での改装を行いました」

取材時にはフィッシングメイト23カディが国道側に向かってディスプレイされ、信号待ちで止まる車からは、物珍しそうに眺めるドライバーの姿が見受けられた。閉店後もタイマー式のスポットライトで23カディを強調し、ボートショップとして印象を高めている。

「レジャーは20から25フィートが主力になりますから、店舗の印象を強めるためにも23フィートぐらいのボートを中心に店内ディスプレイを考えていました。大きな店舗ではないだけに、通行客が目を引くような特徴を持たせてみたかったのです」

業務ユーザーと同様、レジャーのビジネスも長期的な視野で展開したいという野村専務。新規店舗のオープンを今後のボートビジネスの基盤にするためにも、しばらくはお客様との接点を生み出すショップの営業に注力したいという。

「ショップでの営業と合わせて、ボートフィッシングのスタイルを広めるためにも陸っぱりのアングラーが集まる所へフル機装の23カディを持って行って、デモンストレーションをやってアピールして行きたいですね。とにかく近隣の都市と比べてもボートの普及率が低いところですから、こちらから仕掛けて、新規のお客様を開拓していきたいと思います」



〈店舗データ〉

- 創業：昭和33年
- 従業員数：8名
- 管理顧客数：約1200人（9割が業務ユーザー）
- 主力商品：和船（23～32ft）、船外機（25～50ps）
- 商圏：市内を中心に半径1時間距離（雄勝町、女川町、雄鹿町、鳴瀬町）



店内はフィッシングメイト23カディを中心に、シンプルなレイアウトとなっている



屋外にはUF-21カディが展示されている21～23ftクラスのボートは既存ユーザーからも注目を集めている

主力商品は和船（23～32ft）と船外機（25～50ps）。展示では先頃発売したF40Bが用意されていた



「店舗をリニューアルすることでプレジャーのユーザーに対しては売場がやりやすくなっ



ルアーフィッシングやトローリング以外にも登山が好きだという野村専務。「ショップがある以上、当分遊ばせんね」と苦笑い

イトをフル機装させて陸から見えないようなポイントでデモンストレーションを行う。釣りに魅力を感じている人には釣果そのものが強力なセールストークになるはずですから、現状の段階では展示会を開催するよりもインパクトがあると「思います」

ボートに興味がある顧客に対しては展示会は効果的なイベントとなるが、ボートそのものの認知度が低い場合には自らが動くことによつてPRしなければ市場の開拓は難しい。

「店舗をリニューアルすることでプレジャーのユーザーに対しては売場がやりやすくなっ

たと思いません。が、そのままボートの拡販に結びつくとは思いません。まだまだ始まったばかりなので、当面はPR効果を高めてボートへの関心を引き付けられるような営業活動を、その後に免許教室を、というように段階的にできればと考えています」

業務ユーザーから信頼を得るサービス力と新店舗を中心とした営業活動で潜在需要の掘り起こしを狙うと語ってくれた。

私の

「海のある生活」

南の海ではじけるマリライフ

沖縄県・狩俣秀輝さん、新垣勝也さん、西順一郎さん



「いここに誘われて4級免許を取ったんです。その後、マリッジットに初めて乗ったものすごく楽しくて。それがきっかけでした」

沖縄の美しい海でウエイクボードを楽しむ若者たちのグループがある。トーイングボートはヤマハのエキサイター1430TR。今年の2月に購入したばかりの新艇だ。特製のハイボールにボードラックを取り付けた完璧なウエイクボード仕様。ボートを見ただけで、そのマリライフの一端が窺える。グループを代表して最年長の狩俣さんにお話を聞いた。

「最初は職場の仲間を誘って760GPを選びました。それでウエイクボードを始めたんです。いままでもモトクロスや四駆でクロスカントリーを楽しんだり、モータースポーツが好きだったんですが、滑るスポーツは初めてだったんです。これがめつぼう楽しかった。もっと早くやればよかったと思いました」
そして、ジェットボートに乗り替えることに。最初のメンバーから一人入れ替わったが、やはり気の合った4人で共同購入した。メンバーは全員が、警察官。うち3人は機動隊に所属している。

「体育会系の職場ですからね。みんな気合いはばっちりです。」

真冬でも(といっても沖縄だからそれほど寒くはないが)フルスーツを着込んでウエイクを楽しむ。ときに狩俣さんと新垣さんの奥さんも一緒に加わる。「夢はもう少し大きなボートを買うこと。みんなそれぞれ家族ぐるみで楽しめたらいいなと思います」

取材はヤマハのカレンダーの撮影にご協力いただいたときのもの。残念ながらメンバーのひとり・東風平さんが都合がつかずに来られなかったが、同じ職場の三人組は息の合った抜群のコンビネーションで美しい海を満喫していた。